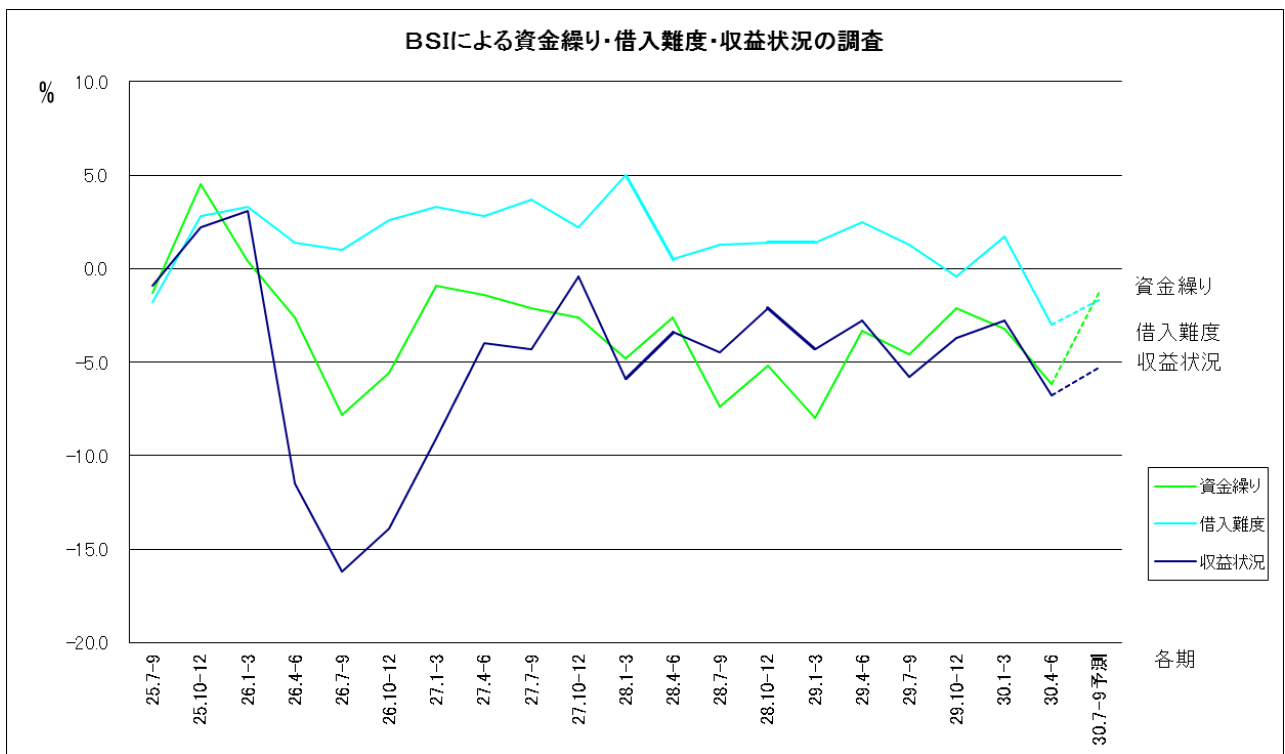
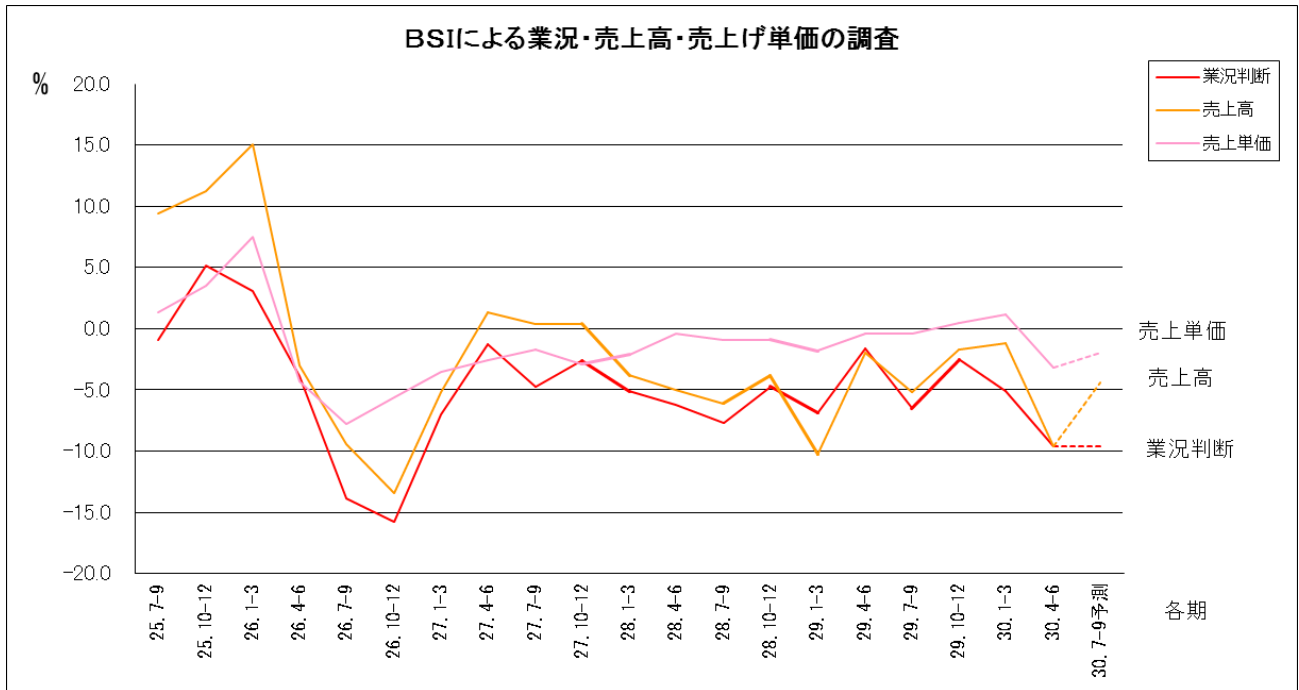


今期の業況判断は「9.6 ポイント」下降。来期は横ばいの見通し。
 業種では「建設業」が今期の大きな下降に続き来期も下降見通し。
 「卸売業」「サービス業」では上昇見通し!!

中小企業景況調査 30年4-6月期(30年7-9月期予測)
 一鳥取県下4商工会議所の調査より



*BSI=(上昇・増加ー減少・下降)×1/2 (但し、「上昇・増加」+「横ばい」+「減少・下降」=100)
 経営者の業況に対するマインドを反映するもの。(0%は「上昇・増加」と「減少・下降」が同数。「+」は上
 昇・増加、「-」は減少・下降)

■業況(グラフ参照)は……

県下の業況は「-9.6 ポイント」となり、前期に比べ「4.5 ポイント」下降しました。来期は横ばいが予測されています。

各業種の業況については、製造業・小売業が「3.1 ポイント」上昇しましたが、サービス業では「9.5 ポイント」、特に建設業は「17.6 ポイント」と大きな下降となりました。小売業は二期連続で上昇しましたが、建設業の下降が大きく、非製造業では「7.6 ポイント」の下降となりました。

来期は卸売業で「9.5 ポイント」、サービス業で「4.8 ポイント」の上昇が予想されていますが、全業種業況判断では横ばいが見込まれています。

■直面している経営上の問題点

- 1位:人手不足(13.4%)
- 2位:売上・受注の減少(12.4%)
- 3位:競争激化(12.0%)
- 4位:原材料・仕入れ価格上昇(11.4%)
- 5位:消費・需要の停滞(10.8%)

■各社からのその他の問題点

- ・インバウンド対策が不十分である。(特に鳥取港の設備)(鳥取・建設)
- ・県外大手企業の誘致について、第3次(商業)産業の誘致には厳格に対応してもらいたい。パート、バイト主体の雇用では地元の利益にはならない。第2次(工業)分野の誘致こそ努めるべきである。(鳥取・製造)
- ・働き方改革を進めていく中での総枠人件費の増大が悩み。(鳥取・卸売)
- ・作業系の人手不足。(鳥取・卸売)
- ・消費を喚起させる政策を求む。(鳥取・小売)
- ・常に人手不足感。賃上げするもモチベーションアップにつながらず、従業員に対する満足度を高める策が必要。(鳥取・サービス)
- ・退職者の補充に以前よりも時間がかかる。(鳥取・サービス)